

桑名市議会議長
南澤 幸美 様

教育福祉委員会委員長
森下 幸泰

議会いきいきトーク実施結果報告書

| | |
|----------|--|
| 開催日時 | 2023年4月27日(木)9時30分～11時30分 |
| 開催場所 | 在良まちづくり拠点施設 |
| 出席議員 | 桑名市議会教育福祉委員会 9名 (森下幸泰、渡辺仁美、松田正美、畑紀子、多屋真美、近藤奈歩、藤本直子、伊藤知美、市野修平(記録)) |
| 参加者 | 明正幼稚園 PTA 21名 |
| 概要 | ・公立幼稚園の現状・存続について ・公立幼稚園の3年保育導入について |
| 主な発言・意見等 | 【明正幼稚園 PTA の関係者から】 ・公立幼稚園の存在が薄くなっている。公立は送迎バスはなく、宣伝もしていないため、目にとまる機会が少ない。 ・公立幼稚園の良さを伝えても、3年保育でないことから教育内容も見てもらえない。 ・上の子が保育園から公立幼稚園に移った際、「幼稚園は好きな時に好きな遊びができる」と言った時は驚いた。保育園より人数が少なく、個に応じた対応をしてもらえる。 ・発達の遅れがあり、私立幼稚園に入園できなかった。しかし、公立幼稚園は2年保育のため、1年間の空白期間が生まれ、放課後デイサービスでのいだ。 ・公立幼稚園の良さは、小学校との連携が取れていること。年長になると分団に入って一緒に登校できる。上級生もよくコミュニケーションを取ってくれて助かった。 ・卵アレルギーがあったが、小学校の栄養職員や養護教諭がきめ細かく対応してくれた。地域に根付いた幼稚園だからこそできたことで、とてもありがたかった。 ・四日市は将来的に幼稚園を認定子ども園化するビジョンと聞いたが、桑名市はどうなっているのか。 ・3歳児は大事な時期。幼保無償化が始まったのに公立では受け入れておらず、子どもの権利が守られていない。 ・基幹園などで、モデルケースで3年保育を試してみてもは |

どうか。

- ・引っ越し時でも、公立はある物で対応できるが、私立は新たに買い直さなければならない。
- ・(児童手当や医療費など)経済的支援は重要であるが、教育環境の整備にも力を入れてもらいたい。
- ・私立幼稚園はカリキュラムもあり、ついていけない子もいるため、公立幼稚園の選択肢は残してもらいたい。
- ・預かり保育は午後 4 時まで。夏休みは実施されない。給食もないため、長期休暇の時は預け先を探さなければならず困る。
- ・夏休み期間の園開放について、先生も大変だと思うが、週のうち数日でも開放してもらえるとありがたい。
- ・私立幼稚園のプレに行くと、公立幼稚園に触れる機会が少なくなってしまう。

【教育福祉委員会の議員から】

- ・公立幼稚園は、食の問題でも手厚い対応をしている。
- ・前任の教育福祉委員会で就学前施設のあり方を調査し、提言を行った。3 年保育も含め検討し、新たな計画を策定するように求めた。
- ・預かり保育や園開放の拡充について、市民の方から要望をいただくこともあるがどうか。
- ・新たな発想を聞くこともでき、有意義な時間となった。
- ・少子化等の全国的な流れもあるが、人数が少ない良さも活かすことも考えていきたい。
- ・有益な情報は積極的に発信していきたい。行政も、議員も頑張るが、SNS 等で保護者からもお願いしたい。
- ・公立幼稚園の良さがよく理解できた。
- ・公立幼稚園の定員が割れており、支援が必要な子が増えている状況を深刻に捉えており、計画に見直しが必要と思う。